

(様式3)

事業所名 グループホームしんせい

作成日: 平成 25 年 2 月 25 日

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	アセスメント様式の中に、利用者の現役時代の暮らしぶりを書き加える等、より本人を理解するための方策について全職員でアイデアを出し合い、今後さらに利用者本位の暮らしを支援して行く取り組みを期待したい。	・出生から現在までを知る。	アセスメントに、生活歴が記入できる書式を加え、職員全員がその人の情報を共有するようにする。	1ヶ月
2	26	介護計画の作成にあたっては、サービス担当者会議にできるだけ利用者・家族からの参加を得て暮らしに対する意向の引き出しを行うとともに、目標達成に向けてそれぞれの役割等について共有を図ることが望まれる。	・プランの共有を図る。	事前に家族へ連絡し、サービス担当者会議へ参加して頂けるように働きかける。	3ヶ月
3	34	利用者との慣れ親しんだ関係性の中でも、利用者に対する言葉かけや語調が誇りを損ねるようなものにならないように、日常的に確認や振り返りを行うことが望ましい。	・職員がお互いに注意をしあい、馴れ馴れしくならないようにする。	職員がお互いに常日頃から確認しあい、グループホーム部会等で振り返りを行っていく。	1ヶ月
4	52	共有空間の壁には利用者の作品や方言集などが掲示されているが、利用者には見えにくい高さである。利用者の目線に合わせた掲示の方法など今後の工夫に期待したい。	・利用者の目線に合った高さに掲示する。	共有空間・居室ともに、利用者の目線を考え、掲示を工夫していく。	済
5					